

non pigmenting fixed drug eruption

オメプラゾール



75歳，男．2007年6月，食道癌に対し内視鏡的粘膜切除術(EMR)を施行．翌日より体幹・四肢に胡桃大から手掌大の紅斑が出現．多形紅斑型薬疹疑いにてすべての薬剤を中止し，1週間後に消褪した．

2010年8月に胃癌に対し再度EMR施行．前回と同じ部位に紅斑が出現した．淡紅色～暗紫紅色の比較的境界明瞭な紅斑を認め痒痒を伴っていた．
(高山直子ほか：皮膚病診療 35：1121, 2013)